

平成 22 年度 第 1 回
第 4 期 熊毛地区地域審議会
会 議 録

日 時：平成 22 年 8 月 3 日（火）

場 所：ゆめプラザ熊毛内

熊毛公民館 2 階 大会議室

【会 議 次 第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 熊毛地区の課題について (各委員からの意見発表)

 - (2) 熊毛地区地域審議会としての検討課題について
- 4 その他
- 5 閉会

平成 22 年度 第 1 回 第 4 期熊毛地区地域審議会 会議録

日 時	平成 22 年 8 月 3 日 (火) 13 時 30 分 ~ 15 時 45 分
場 所	周南市ゆめプラザ熊毛内 熊毛公民館 2 階 大会議室
出席者	・委員 14 人 (欠席 1 人) 榎山 隆、佐久田美智枝、竹本 新、河谷千代子、上田 悟、川野玲子、 升崎美彦、小松昭人、河内卓彦、桑嶋ゆり子、平岡勝成、棚田敬治、 上田辰巳、中村美代子 ・事務局 5 人 熊毛総合支所長 福嶋崇男、次長 大宅英幸、地域政策課主幹 國廣賢次、 同課課長補佐 山根卓彦、同課員 末次美由記
資 料	・「熊毛地区の課題について」 ・「熊毛地区の課題について」意見一覧 ・「バジェット シュウナンシティー わかりやすい予算 2010」

会 議 議 事 録

1 開 会

2 あいさつ (総合支所長)

3 事務局の紹介

4 議事 (要約)

(1) 熊毛地区の課題について (各委員からの意見発表)

- 会長 審議会では何を考えていくかということで、あらかじめ提出された委員の皆さんの意見を順に発表していただき、それに対して事務局から回答なりをいただく形で進めたいと思います。時間が限られていますので、1人5分程度にまとめて、お願いできればと思います。では、発表をお願いします。
- 委員 勝間駅から国道2号の交差点側の空き家が、かなり壊れているので、小学生などからも怖いという声を聞きますので、市で何とか対策をしてほしいです。それから、熊毛地域の交通手段について、良い方法で進んでいくように、お願いしたいと思います。それと、勝間小学校の裏庭の駐車場に穴が空いているのですが、子どもたちや車の運転でも危ないので、対策をお願いしたいと思います。それから、勝間駅前の柱時計が壊れています。あの時計を頼りに動く人がいますので、ぜひ修理をお願いできればと思います。最後に、道の駅について、協力して、進めていってほしいと思います。

会長 事務局からお願いします。

事務局 今回の会議では、委員の皆さんに意見を発表していただいて、その中で、地域審議会全体での課題を一つに絞っていただいて、そのテーマに沿って、今後審議をしていただきたいと思いますので、個別の回答につきましては、控えさせていただきますと思いますので、よろしく願いいたします。

委員全員 (了承)

委員 まず、未着手の工事について、今、単純には税収が上がらない時代ですので、本当に必要かを見極めて行なってほしいと思います。それと、今、すごく休耕田が増えています。定年退職された団塊の世代の人たちに登録をしてもらって、花や野菜作りなどで休耕田を活用してもらえばいいと思います。最後に、今、人間関係が希薄になっているように思います。子どもが小さい頃から地域ぐるみで関わるとか、高齢者の孤独死を防ぐためにも、密接な人間関係が築けないかと思っています。

委員 あと3年で合併してから10年経ちますが、合併特例債が切れる時期が近づいていますので、要望しようという思いではなく、厳しい時代が来ることを考えないといけないという思いで、課題を書きました。市民の要望に対して、合併前から、行政がいろいろと保護してくれています。本当は自分たちで何でもやっていかなければいけないことを要望して、行政がやってくれて当前になっているのではないのでしょうか。これでは国の借金も増えるばかりではないのでしょうか。国や山口県でも少子高齢化で人口が減っており、人口減少の影響がでてくるのではないかと思います。他の合併した市をみてもそうですが、総合支所の職員も減ると思います。市職員と市民が協力してやっていくべきだと思います。行政の補助金に頼るばかりではなく、無理はしないので、地域の人で助け合ってやっていかなければいけないかと思っています。昔は、組というものがあって、今で言う自治会組織みたいなものですが、その組が、役場や警察、郵便局、小学校の校庭などの土地や、役場の建物などの資金を出してやっていたのを聞いたことがあります。自分たちでも資金をだして、まちづくりをしていく、ということを考えて、やっていくべきではないかと思っています。

委員 交通弱者が交通手段に苦労する時代になってきて、過疎地だけでなく、団地の人たちも、今の交通システムでは難しくなってきたように言われています。デマンドタクシーや乗り合いタクシーなど、熊毛地域も本気で取り組む時代にきているし、遅れているのかもわかりませんが、公共交通機関の拡充整備が必要ということで課題にあげています。次に、幹線道路網整備事業です。熊毛地域内国道2号の4車線化や歩道の整備が進んでいません。新たに要望書を出さないと前に進まないような話を聞いていますが、非常に遅れています。先日もピクロスの前で死亡事故がありましたが、交通量が多いので真剣に取り組んで要望する必要があると思います。市道についても、箇所が多いので大変とは思いますが、整備が進んでいないようですので、重点的に取り上げていく必要があると思います。もう1点は、水道事業です。中山ダムも分水化で各地域に分けていただくようになり、市としても積極的に計画が進められると聞いています。古い配管を先に直さなくてはならないということで、整備に取り組んでおられますが、住民の合意形成がないとできませんので、これも

れたので、それに触れておりません。その中で、熊毛に関係があるのは、道の駅ももちろんですが、いのち育むプロジェクトだと思います。ただ、地域振興5法に該当しないという理由で、勝間地区は中山間地域に指定されていません。しかし、関屋地区や松舟地区、新畑地区などの状況を考えると、指定外なのが疑問です。審議会で取り上げてもらいたいと思います。岩国市は全市域が中山間地域ですので指定できないことはないと思います。

委員

生活交通について、背景があるのかもしれませんが、市長と語る会で、再度申し入れをすればやるというような回答を聞きました。やらないと困るわけで、何とかしないといけないと思います。次に、地域防災体制の整備・充実と、地域力の向上は運動しています。連合自治会が先に取り組むべきことと思います。事業仕分けもあって、自治会についても取り上げられていました。小学校単位で連合自治会が無い地区を抱えているのは、市内では熊毛地域だけです。立ち上げを呼びかけた時期もありましたが、進みませんでした。発表されている委員の皆さんの思いを実現するには連合自治会が必要と考えます。自治会長が毎年変わるので、立ち上げが進まないということもあるのかもしれませんが。防災体制については、熊毛地域の東には活断層があります。近い将来の地震発生を懸念する声もあります。それも踏まえて、地域防災体制の整備を早期に取り組み、円滑に機能するように訓練なども行ないいざという時に活用できるようにしておくべきと思います。それから、污水处理施設について書きました。市の財政が非常に厳しい状態にあるので、特に中山間部の上下水道は、都市部のように、将来的にもならないだろうと思います。下水については、環境保全ということも含めて合併浄化槽の整備に関する補助が出ると聞いていますが、維持費などを考えると、都市部に比べて高いので、整備するのをためらってしまう気もします。公平性を考慮した施策を考えてほしいと思います。

委員

便利なまちであってほしいということを書きました。人が少ないと不利なことが多いということで、県内どこも人口減少の問題があると思いますが、近隣からでも人を増やすという気概がないと、元気なまちにはならないのではないかと思います。不便だからここから出て行こうという人がないように、また、いいところだから越してこようという人が増えるように、元気なまちにしてほしいと思います。商業施設や商店街などが減ると不便になるので、そうならないために取り組みが必要と思います。また、インターチェンジが活用できないかと思います。バスの便数は少ないようですが、バスは走っているので、インターチェンジを経由して走るという風になれば、乗る人も安心してバスを当てにできるのではないかと思います。そして、その限界がにぎやかになればいいのでは、と思います。また、住居表示が分かりにくいので、地元に着がある名前などを考慮しながら、分かりやすい便利なまちにしてほしいと思います。

委員

水問題ですが、これまでも審議されてきたようですので、継続審議してほしいと思います。それから、福祉バスについて、まだ目に見えてきていないので、前に進めてほしいと思います。特に、八代地区について、他地区のように病院がないので、高齢化で運転ができなくなって、病院への往復が大変なようです。業者との調整など難しいところもあるとは思いますが、なんとかできればと思います。それから、教育環境

の整備充実ということで、耐震化や学校再配置の問題をあげました。

会長 事情などで事前に意見を提出されていない委員の皆さんは、ご意見ありませんか。
委員 問題点については、皆さんが出されていますので、この中から絞っていけば良いと思います。意見は絞っていく段階で出したいと思います。

委員 提出された皆さんの意見と同じような思いです。

委員 皆さん、立派な意見を出されていますので、これから勉強させていただき、いろんな提案をさせていただければと思います。

(2)熊毛地区地域審議会としての検討課題について

会長 皆さんから意見が出ましたので、次に、個別の問題は別として、熊毛地域全体の問題を地域審議会に取り上げて、皆さんと協議をしたいと思います。意見を分類した一覧を見ると、福祉バスや道の駅に関するものが多いです。協議する課題はできれば2つくらいに絞れたらと思いますが、皆さんの意見はいかがでしょうか。

委員 全体的に福祉バスの要望が出ていますので、進めていければと思います。

委員 水問題ですが、地域審議会としての協議がなくても、年数の問題だけで、進んでいくものなのでしょうか。

事務局 第2期でも審議しておりますし、市長と語る会でもお答えしていると思いますが、企業団の水利権の構成団体で分割協議が整いましたので、今年度から水道の基盤整備事業の計画の策定や説明会などを開催した後に、事業認可の申請を行なうという段取りになっているようです。簡易水道が13ありますが、統合事業なども進めていくということで、平成28年度までは国庫補助がもらえるということですので、それまでの間にできるだけのことをしたいということで、回答があったように思います。

委員 それは、簡易水道に関してではないですか。

事務局 簡易水道が統合すると上水になりますので、熊毛地域としての上水道計画が策定されていくのではないかとということです。

事務局 13簡水については、上水を分水して引いてくるということで、協議は進めていこうと思います。ただ、問題は、新興住宅地以外の、井戸水を利用している在来の地区だと思しますので、説明会を開いて住民の皆さんに理解していただかないと、上水問題は難しいと思います。ですので、早急に焦って行なうというのではなく、地元の皆さんの意見を聞きながら行なっていく、という風になると思います。

会長 水問題は平成18年に、建議で出していますね。

委員 予定通り進んでいくとは思いますが、加入者が少ないと、採算が取れず、結局できないということになるかもしれませんので、4番目でも5番目でもいいので、地元の意見として、水問題が大事であるとアピールする必要があるのではないかと思います。

委員 下水について意見があれば聞きたいのですが、それと、上水について、28年度までということですが、期間的に厳しいのではないのでしょうか。

事務局 上水について、28年度までであれば国庫補助がもらえるということですので、28年度を目標に進めていくということです。

委員 意見の一覧を見ても、道の駅の関心が強いと思いますので、これを取り上げていた

- 委員 だきたいのと、具体的に進めるために部会も作るべきではないかと思いますが、道の駅についての調査や、検討するメンバー、立地条件、目玉になるものの開発など、考察が必要ではないかと思います。
- 委員 道の駅の建物を建てた後の維持管理に不安があるのですが、
- 委員 そういふことの考察を含めて、まずは基本構想の策定をめざすということです。
- 委員 維持管理に税金が投入されて市民から苦情がでたらと思うと心配です。
- 委員 そういふことがないように、商品開発や観光、食のことなどを絡めて、来客が見込めるように考察したいと思います。
- 委員 道の駅を紹介するラジオ番組がありますが、特色があるところが選ばれていますし、地産地消をやっているところが多いように思います。
- 委員 何年で黒字化するのか不安があります。マーケティングを進めておかないと厳しいと思います。地産地消は全国でやっているのに差別化が難しいと思います。赤字が続いても防災としての機能があるから、というのが、逃げ道にならないかという不安もあります。協議をするのは問題ないと思いますが、設置について市民が盛り上がってこないのは、そのあたりに自信がないからではないかと思います。
- 委員 道の駅は利益が出れば民業圧迫、利益が出ないと税金を投入するという一方で、残された子どもが払っていかねばいけないというような問題もあります。商工会の会員も少なくなっていますので、熊毛地域では商工会を合併するよう働きかけたが、問題があり、できなかった経緯があります。熊毛地域では食品や野菜を販売している商店がだんだん少なくなっていますが、その中でも頑張っておられる人が、自分の店で売れないから、移動販売をしておられます。交通弱者の問題も含めて高齢者が自分では行けない部分を、行ける人が行って販売していくのを行政や社会福祉協議会でやっているところもあるらしいです。商売人がなくなってきたから、地域の安心安全という面もなくなってきた、行政やボランティアにまかせきりにするという問題になってきたと思います。道の駅ができることは悪いことではありませんが、成功するかどうかはやる人が責任をもってやるかということです。税金を使ってやったのはいけないわけです。そういうことも含めて、考えるべきと思います。
- 委員 シビアに数値を試算されないと、税金投入などの問題が払拭されないのではないかと思います。
- 会長 道の駅と、福祉バス、水の問題があがりましたが、議論を聞いていると、今日、決定するのは難しそうな感じがします。次回に持ち越して、皆さんに考えてきていただくのはいかがでしょうか。
- 委員 意見は、まとまった段階で市に提出すればいいのですか。
- 会長 そうです。次回なるべく早く開催して、早く決めて議論していけたらと思いますが、いかがでしょうか。
- 委員 話的の外れるかもしれませんが、福祉バスの件ですが、本当に利用者があるのか疑問があります。バスは高いから乗らないという声を高齢者から子どもまで、身近でよく聞きます。熊毛地域では、バスが走っていても、高いから乗らない、乗らないから本数が減って高くなる、という背景があると思います。福祉バスが迎えに来てく

れる場所によって利用量も変ると思いますが、利用者の声をよく聞いた方がよいと思います。

事務局 会長がまとめかけられていたので、それについてですが、議論を聞いていると、福祉バスと道の駅の2つと、水問題については審議はしなくても、審議会の意見としておいてほしいと話されていたのではないかと思いますので、今回の会で、この3つに絞っていただいて決めていただけると、次回開催する時に、事務局の準備はもちろんですが、皆さんも意見を出していただきやすいのではないかと思います。

会長 それでは、福祉バスと道の駅の、2つの大きなものと、水の問題ということで、皆さん決めてよろしいでしょうか。

委員 国道2号について、地元から要望が上がらないと歩道をつける話が進まないというようなことを聞いたので、そういうことがあるのであれば、審議会でも応援なり要望をしないといけないのではないかと思います。

事務局 勝間地区では交通事故が多いということで、コミュニティで、道路改良に関して、署名や要望書を出してはどうかという話を進めておられるように聞いています。議題としてではなくても、審議会の意見として出されるという総意で進められるというのは可能ではないかと思います。

委員 わかりました。

会長 そうすることで、これからの議題は決まったということで。

事務局 議題が決まったということで、理解してよろしいでしょうか。

委員全員 (了承)

事務局 次回、審議を進めるのに資料などが必要であれば、事前に言っていただくと助かりますので、よろしくをお願いします。

委員 次回、いのち育む里づくり部長に来ていただけないでしょうか。

事務局 可能か分かりませんが、投げかけてみます。

委員 議題以外の課題にも、次回、簡単に説明をお願いしたいのですが。

事務局 次回、必要があれば担当部局も入って、説明できるものは説明するというので、よろしいでしょうか。

委員全員 (了承)

事務局 よろしくをお願いします。

(3)その他

事務局 (資料「バジェット シュウナンシティー わかりやすい予算 2010」の熊毛地域に関するものを説明)

会長 これで、本日の審議は終了しました。

事務局 本日は長時間にわたり、熱心にご審議いただきありがとうございました。

8 閉 会